

Sun Netra 6000 モジュラーシステム
ご使用にあたって



Part No.: 821-1853-11,
2010 年 11 月、Revision A

Copyright © 2010, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

このソフトウェアおよび関連ドキュメントの使用と開示は、ライセンス契約の制約条件に従うものとし、知的財産に関する法律により保護されています。ライセンス契約で明示的に許諾されている場合もしくは法律によって認められている場合を除き、形式、手段に関係なく、いかなる部分も使用、複写、複製、翻訳、放送、修正、ライセンス供与、送信、配布、発表、実行、公開または表示することはできません。このソフトウェアのリバース・エンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイルは互換性のために法律によって規定されている場合を除き、禁止されています。

ここに記載された情報は予告なしに変更される場合があります。また、誤りが無いことの保証はいたしかねます。誤りを見つけた場合は、オラクル社までご連絡ください。

このソフトウェアまたは関連ドキュメントを、米国政府機関もしくは米国政府機関に代わってこのソフトウェアまたは関連ドキュメントをライセンスされた者に提供する場合は、次の通知が適用されます。

U.S. GOVERNMENT RIGHTS. Programs, software, databases, and related documentation and technical data delivered to U.S. Government customers are "commercial computer software" or "commercial technical data" pursuant to the applicable Federal Acquisition Regulation and agency-specific supplemental regulations. As such, the use, duplication, disclosure, modification, and adaptation shall be subject to the restrictions and license terms set forth in the applicable Government contract, and, to the extent applicable by the terms of the Government contract, the additional rights set forth in FAR 52.227-19, Commercial Computer Software License (December 2007). Oracle America, Inc., 500 Oracle Parkway, Redwood City, CA 94065.

このソフトウェアもしくはハードウェアは様々な情報管理アプリケーションでの一般的な使用のために開発されたものです。このソフトウェアもしくはハードウェアは、危険が伴うアプリケーション(人的傷害を発生させる可能性があるアプリケーションを含む)への用途を目的として開発されていません。このソフトウェアもしくはハードウェアを危険が伴うアプリケーションで使用する場合、安全に使用するために、適切な安全装置、バックアップ、冗長性 (redundancy)、その他の対策を講じることは使用者の責任となります。このソフトウェアもしくはハードウェアを危険が伴うアプリケーションで使用したこと起因して損害が発生しても、オラクル社およびその関連会社は一切の責任を負いかねます。

Oracle と Java は Oracle Corporation およびその関連企業の登録商標です。その他の名称は、それぞれの所有者の商標または登録商標です。

AMD, Opteron, AMD ロゴ, AMD Opteron ロゴは、Advanced Micro Devices, Inc. の商標または登録商標です。Intel, Intel Xeon は、Intel Corporation の商標または登録商標です。すべての SPARC の商標はライセンスをもとに使用し、SPARC International, Inc. の商標または登録商標です。UNIXはX/Open Company, Ltd. からライセンスされている登録商標です。

このソフトウェアまたはハードウェア、そしてドキュメントは、第三者のコンテンツ、製品、サービスへのアクセス、あるいはそれらに関する情報を提供することがあります。オラクル社およびその関連会社は、第三者のコンテンツ、製品、サービスに関して一切の責任を負わず、いかなる保証もいたしません。オラクル社およびその関連会社は、第三者のコンテンツ、製品、サービスへのアクセスまたは使用によって損失、費用、あるいは損害が発生しても一切の責任を負いかねます。



リサイクル
してください



Adobe PostScript

目次

最新情報	1
サポートされるハードウェアコンポーネント	2
サポートされる CMM ソフトウェア	3
Chassis Software Release 3.3 で使用可能な新機能	3
▼ DC 電源装置の有効入力端子を構成する	4
既知の問題	5
サーバーモジュールを取り付ける前に REM および FEM を再設置する	5
NEBS モジュラーシステムにおける Switched NEM の制限事項	5
Sun StorageTek HBA ExpressModule のケーブル要件	6

最新情報

このドキュメントでは、次に挙げる Oracle の Sun Netra 6000 モジュラーシステムの重要な最新情報について説明します。

- [2 ページの「サポートされるハードウェアコンポーネント」](#)
- [3 ページの「サポートされる CMM ソフトウェア」](#)
- [5 ページの「既知の問題」](#)

サポートされるハードウェアコンポーネント

次の表に、Sun Netra 6000 モジュラーシステムでサポートされるモジュラーコンポーネントを示します。

コンポーネントの種類	型番 - 製品名	メモ
サーバーモジュール	Sun Netra T6340 サーバーモジュール Sun Netra X6270 M2 サーバーモジュール	
Network Express Module (NEM)	X4250A - Gigabit Ethernet (CU) 10-port Pass-Thru Network Express Module X2073A - Sun Blade 6000 Ethernet Switched NEM 24p 10GbE	この NEM はサポートされていますが、いくつかの制限事項があります。 5 ページの「NEBS モジュラーシステムにおける Switched NEM の制限事項」 を参照してください。
PCIe ExpressModule (PCI EM)	X1110A-Z - Dual Port 10GbE SFP+ X7284A-Z - Sun x4 PCI-Express Quad Gigabit Ethernet SG-XPCIEFCGBE-Q8-Z - Sun StorageTek Dual 8 Gb FC Dual 1 GbE HBA SG-XPCIE8SAS-EB-Z - Sun StorageTek 8-port SAS Host Bus Adapter	

サポートされる CMM ソフトウェア

CMM ILOM ファームウェアが組み込まれたシャーシソフトウェアが工場ではプリインストールされています。ソフトウェアは随時更新されます。更新版は次の Web サイトで確認および入手できます。

<http://www.oracle.com/technetwork/systems/patches/firmware>

次の表に、モジュラーシステム用 CMM ILOM の最小バージョンと最新バージョンを示します。

	Sun Netra 6000 AC モジュラーシステム	Sun Netra 6000 DC モジュラーシステム
最小	Chassis Software Release 3.1	Chassis Software Release 3.2.2
最新*	Chassis Software Release 3.3	Chassis Software Release 3.3

* 最新のファームウェアが CMM にプリインストールされていない場合は、最新のファームウェアをダウンロードできます。

Chassis Software Release 3.3 で使用可能な新機能

Chassis Software Release 3.3 には、DC 電源装置の有効入力端子を構成するための機能が備わっています。

注 – この機能は、DC モジュラーシステムにのみ使用できます。

各 DC 電源ユニット (Power Supply Unit、PSU) には入力端子が 2 つあります。PSU のデフォルトの有効入力端子は、シャーシ内の場所によって決まります。デフォルトでは、PS0 と PS1 が入力端子 A を、PS2 と PS3 が入力端子 B を使用します。デフォルトの有効入力端子は次の手順で変更できます。デフォルトでは、PS0 と PS1 が入力端子 A を、PS2 と PS3 が入力端子 B を使用します。デフォルトの有効入力端子は次の手順で変更できます。

▼ DC 電源装置の有効入力端子を構成する

1. CMM ILOM にログインします。

詳細は、『Sun Integrated Lights Out Manager (ILOM) 3.0 補足マニュアル Sun Netra 6000 モジュールシステム』を参照してください。

2. 次のように入力します:

```
-> set /CMM/policy N6000_USE_PSn_INPUT_X=action
```

各エントリの内容は次のとおりです。

- *PSn* は PS0、PS1、PS2、または PS3
- *X* は電源装置の入力端子 A または B
- *action* は enabled または disabled

例:

- PS0 の有効入力端子を A から B に変更する

```
-> set /CMM/policy N6000_USE_PS0_INPUT_B=enabled
```

- PS0 の有効入力端子を A に戻す

```
-> set /CMM/policy N6000_USE_PS0_INPUT_B=disabled
```

注 – これらのオプションは、CMM ILOM BI (「CMM」->「configuration (構成)」->「policy (方針)」) でも設定できます。

既知の問題

ソフトウェアおよびファームウェアに関する問題を解決するためのパッチは、次の Web サイトで確認して入手できます。

<https://support.oracle.com>

サーバーモジュールを取り付ける前に REM および FEM を再設置する

REM または FEM を事前に取り付けてサーバーモジュールが納入される場合や、サーバーモジュールをシャーシ環境外に移動する場合は、REM または FEM がサーバーモジュールに未設置の状態になっていることがあります。

製品が正常に機能するようにするためには、サーバーモジュールをモジュラーシステムのシャーシに取り付ける前、およびサーバーモジュールに電源を投入する前に、REM および FEM を再設置してください。

NEBS モジュラーシステムにおける Switched NEM の制限事項

Sun Blade 6000 Ethernet Switched NEM 24p 10GbE を Sun Netra 6000 モジュラーシステムのシャーシに取り付けるときは、次の制限事項が適用されます。

- Sun Blade 6000 Ethernet Switched NEM 24p 10GbE を他のタイプの NEM が取り付けられた Sun Netra 6000 モジュラーシステムのシャーシに取り付けることはできません。Sun Netra 6000 モジュラーシステムのシャーシに他のタイプの NEM が取り付けられている場合は、Sun Blade Ethernet Switched NEM 24p 10GbE を取り付けの前にそれらの NEM を取り外してください。
- Sun Blade 6000 Ethernet Switched NEM 24p 10GbE. では、外部 SAS 機能が無効になっています。
- NEBS 環境では、この NEM の QSFP ポートへの光リンクのみがサポートされます。光リンクを使用すると、NEBS の温度制限に準拠させることができます。

詳細は、『Sun Blade 6000 Ethernet Switched NEM 24p 10GbE Product Notes』を参照してください。

Sun StorageTek HBA ExpressModule のケーブル要件

4Gb/秒で実行されている Sun StorageTek Dual 8Gb FC Dual GbE HBA ExpressModule (SG-XPCIEFCGBE-Q8-Z) を使用する Sun Netra 6000 モジュラーシステムの構成では、排出基準を満たすために、カードの Ethernet ポートでシールド付きより対線 (Shielded Twisted Pair、STP) を使用する必要があります。8Gb/秒および 2Gb/秒の操作では、シールド付きより対線または非シールドより対線のどちらも使用できます。